

## 令和4年度横須賀市精神保健福祉連絡協議会会議録

- ・ 日 時 令和5年2月16日（木）午後2時00分から午後3時00分（ZOOM開催）
- ・ 出席者 小林正稔、高屋淳彦、中野浩志、木村充、後藤健一、志戸ゆかり、鈴木香織  
佐藤陽子、重城真知子、永野寛、柏美樹、逸見浩輔、下江秀雄、三輪明広  
福本雄一、藤崎啓造、小菅俊彦 （敬称略）
- ・ 事務局 増田浩子 : 保健所保健予防課主査  
木俣宏美 : 保健所保健予防課  
田杭真澄 : 保健所保健予防課

### 1 開 会

### 2 自己紹介 欠席者1名

### 3 議 事

座長選出 重城構成員の推薦により、しらかばこども家庭支援ステーション副所長  
小林構成員が座長に選出された。

#### 小林座長

議事（1）精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの取組み状況について事務局へ報告を求めた。

#### 事務局

資料1、2に基づき報告をした。

#### 小林座長

この件について、質問はあるか。

質疑応答なし

#### 小林座長

議事（2）精神障害者支援の現状及び地域の課題について事務局へ報告を求めた。

## 事務局

資料3に基づき報告をした。

## 小林座長

この件について、構成員の方から質問や意見はあるか。

## 三輪構成員

ピアサポート活用に関わる事業の実施を提案したい。共感に基づくピア活動に参加することで、楽しさや生きがいを感じたり、やる気出てきたりすることが期待される。その結果、体調悪化や入院も減ると思う。また、当事者が地域で安心して暮らせているか、アンケートなどで直接、定期的に確認する必要があると思う。適切な施策を展開していけば、アンケートの結果が毎年良くなっていくと思う。

## 柏構成員

地域移行、地域支援について横須賀市では支給決定が下りづらいと耳にしたことがある。病院にもケースワーカーがいるため、外の事業所が支援する必要はないのではという意見もある。病院と事業所のどちらがイニシアティブをとるのかという課題がある。だれか一人でとか、どこか一機関でということではなく、いろいろな機関がかかわり実施していくものである。人は変わるが、継続的にかかわりがあるという状況であれば、利用者は安心して地域に住み続けられるのではないか。先生につながるにはどうしたらいいかなと思うことがある。ケースワーカーに間に入れてもらうこともあるが、直接、先生に聞きたいこともある。横須賀にはいろいろな会議があり、見通しよく、見える関係がある。それは家族の安心にもつながる。

## 高屋構成員

どんなところに苦労しているのかお聞かせいただきたい。

## 柏構成員

具合が悪くなって、人を攻撃したりするようなことがあっても、次の外来が2週間後ということもある。緊急でお願いしたいことがあっても、主治医の先生がいないと言われる。待つことが多い。代診でもいいので診てもらいたい。早めに相談しなければいけないと思っている。入院の予約はできても、先になり待てないことがある。症状の変化がつかみづらい。どの段階で相談すればよいのか戸惑う。病院だとソーシャルワーカーに相談できるが、かかりつけがクリニックだとどうすればよいかと思う。

#### 高屋構成員

即時対応が大事だと思う。相談してほしい。夜間救急が難しいところかと思う。救急システムもある。

#### 下江構成員

アウトリーチ訪問支援を広めてもらいたい。横須賀市では地域生活サポート事業が立ち上がった。生活介護も入っているが、精神障害のみ1級になっている。横浜市では高齢者、独居者の生活サポートが充実している。知的20か所、精神17か所、高次機能障害14か所が等級関係なくサポートされている。横浜市の入院患者は横須賀市の10分の1になっている。横浜市は親亡き後も安心できる体制がある。横須賀市には障害者サポートセンターが5か所ある。東京都はサポートセンターには各チームに一名ずつ精神保健福祉士を入れている。体制が充実しているからか入院が少ない。

#### 重城構成員

大声を出して近所から苦情があったり、本人の具合が悪く入院を検討したいケースについて、市長同意をお願いしたが、連絡は取れなくても家族の住所が分かっている場合はダメと言われる。昨年度も2件そのようなことがあった。今後、保健所で検討していることがあるか。

#### 高屋構成員

今度、精神保健福祉法の改正がある。家族が同意をしない場合は市長同意にできるようになる。それは当然のことであるし、いいことだと思う。当院は応急入院を受け入れている。スーパー救急をしており、体制が整っているため対応できている。72時間という時間制限はあるが、応急入院で受けて任意入院で継続できるように説得をする。市長同意は法の改正を待たずにやれることを最大限やってほしい。こちらも最大限の努力をする。実際に患者さんをどう支援するかが大事。変わることを前提で実施してほしい。

#### 小林座長

ただ今の意見について、事務局より、説明をお願いします。

#### 事務局

親族の住所や電話番号が分かっているが、電話をかけてもつながらない場合については市長同意できることもある。親族がいても同意を得ることができない場合の対応については、国からの説明を待っているところである。適宜、情報提供をしていきたい。法改正での変更を踏まえ、ケースバイケースで協力していきたい。

#### 中野構成員

精神保健福祉法改正法が通っている。来年ぐらいから変わってくると思う。市長同意の件に関しては状況がよくなったと歓迎している。やはり法律なので、施行までは市の権限でというのはしんどいのではないかと。具合の悪い患者さんがいれば、早めに教えてほしい。入院は難しかもしれないが、主治医の先生はいなくても、応急処置として注射をする、薬を変えるなど早めに対応できる。困っているのは悪くなっているのが分かっているが連れて行くことができない、移送手段がないというケースが少なからずあるということ。業者を使うと20万近いお金がかかることもある。8050問題、親の力で連れてこれないケースもある。難しい課題だと感じている。

#### 三輪構成員

強制的な入院はできるだけ避けたい。全体的に暮らしやすさに対して丁寧にかかわってもらおうことで、強制的な入院の予防につながると思う。

#### 小林座長

メディカルが中心となっていくことも大事であるが、コメディカルの連携がきちんととれていることも大事。個人情報を守られた上で情報共有ができ、状況を把握できているとスムーズに事が運ぶ。健全な地域エゴイズムとして、横須賀だからできる横須賀らしさ（人の密着度など）を推進できる状況が理想である。制度は財政規模によるところが大きい、結局は人だと感じている。横須賀は温かさが残っている。そこを忘れず広げていくことが課題。制度は遅れて実情に追いつく。知恵の出し合いが大事だと感じている。

#### 佐藤構成員

症状が悪くなった時に、医療機関などどうつながっていか迷うことが多い。法律改正で柔軟に対応できるようになったらよいと思う。

#### 永野構成員

地域包括支援センターの対象は高齢者だが、その家族に精神疾患を抱えた方が多いと感じている。高齢者に限らず、それぞれの地域で自立して生活を送るために連携・協働が必要だと感じている。

#### 木村構成員

風通しの悪いと感じられることもあるかもしれない。ささいなことでも電話をもらいたい。つながりにくいことがあるかもしれないが遠慮なく、早めに連絡をいただきたい。医師につながらなくてもソーシャルワーカー宛でもよいので一報いただきたい。

#### 志戸構成員

高齢者を中心に対応する訪問看護ステーションのため、精神疾患を専門としている看護師が少ない。困ったときは病院、診療所、クリニックと密に連絡を取り合うようにしている。病院でのチーム、チームブルーよこすかサポートセンターなど在宅でのチームとのやり取りをしながら対応をしている。

#### 鈴木構成員

相談部門には精神疾患について専門知識がある職員はまだまだ少ない。知的障害者を主に対応している。精神障害者については支援者に苦手意識があったり、医療とうまく連携をとれずに困っている事業所が多い。地域の事業所から相談があった際に、どのように医療と連携がとれるかが問題となる。病状不安定な時にヘルパーの対応では限界がある。訪問看護、ケースワーカー、主治医に対応を教えてもらったり、本人を支えていくための話し合いの場を設けたり、橋渡しの役割があると考えている。市内のサポートセンター等でも精神障害に対する理解を深めるために、勉強会が必要と考えている。地域移行支援については、福祉の担当者は病院のソーシャルワーカーの動きが想像できない。ソーシャルワーカーがどんな動きをするのか、医療としてどこまでできるのかが分からない。病院も地域の事業所がどこまで動ける分からない。どこかで顔合わせをして、モデルケースを持てるといいと思う。ケースを通してどこまで動けるのか、密に連絡を取り合いながら、お互いのグレーゾーンを埋めていくことが大事だと思う。地域移行がうまくいく。

#### 逸見構成員

業務で直接、かかわることはない。後見人業務で 8050 問題の高齢者を見ていると 50 代の子の問題が多々、出てくる。法律実務家であるため、具体的にどう役に立てるかはわからないが皆様の協力を仰ぎながら活動していきたい。

#### 小林座長

議事（3）その他で構成員に全体を通じての意見を募った。

案件なし

## 6 閉 会

※この議事録は、構成員等の発言を事務局において要点筆記したものです。